

中津南高等学校同窓会会報

# はく白楊



編集・発行  
大分県立中津南高等学校同窓会  
事務局/中津市高畑2093番地  
TEL (0979) 22-0224  
FAX (0979) 23-4678  
http://www.minamikou.net/  
印刷/高橋印刷所

## ご挨拶



同窓会会長  
清源善二郎

師走を迎え、今年もいよいよ残りわずかとなって参りましたが、同窓の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

最初に、この度の熊本大分鳥取大地震により被災された関係者の皆様に対して心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心から祈念申し上げます。さて、今年の総会は、去る6月25日に開催され、昨年度の会務報告、決算報告、監査報告の後、今年度の会務計画案、予算案が審議され無事に承認されました。また、新しい3名の副会長と1名の監事の選出についても承認していただき新体制が整いました。退任された役員の皆様に対しまして、これまでのご苦労に心から感謝致します。

今年の同窓のつどいは、10月8日土曜日の5時半から中津駅前ヴィラルーチエにおきまして当番幹事高校34回生の尽力により盛大に開催されました。美味しい料理と美味しいお酒、それに妖艶なベリーグダンスに会場の500名が酔いしれた次第でございます。昨年の同窓のつどいでは、現役南高生による部活動紹介パフォーマンスがありました。中津本部の同窓のつどいは毎年活性化されてきております。東九州自動車道も今年全面開通致しましたので、是非一度、中津本部の同窓のつどいを見に中津に里帰りしてみられてはいかがでしょうか。

最後にになりましたが、母校支援経費に充てられますところ、今後も引き続き皆様の同窓会年会費徴収に対するご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

## 寄付御礼

◎15万円

(高34回生一同  
代表 岡崎 誠一様)

次に、毎年懸案となっております

おります年会費の件ですが、本年度もまた「同窓会年会費払込用紙」を同封させていただきますので、どうか同窓会の財政難を考慮していただき、同窓生皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。年会費は、収入財源の根幹を成しており、この財源は同窓会の一般経費を始め、白楊奨学金事業(経過措置)、体育学術文化育成事業等の

## 《役員改選》

(平成28年6月25日総会)

役職名	氏名	回生
名誉会長	長野耕作	高1
名誉会長	和田仁人	高14
顧問	西義一郎	高4
会長	清源善二郎	高24
副会長	神本多貴子	高25
副会長	大倉喜代美	高29
副会長	小南弘	高30
副会長	橋本一浩	高31
副会長	苅北由美	高34
副会長	大下洋志	高35
副会長	原和範	高35
監事	熊埜御堂宏實	高17
副会長(PTA会長)	蓮田章八郎	高20
副会長(校長)	三郎丸裕司	高33
副会長(校長)	高畑一郎	高17
事務局長	八崎増美	高17

【退任】 ○: 新任

副会長	影木正子	高12
副会長	矢澄澄子	高19
副会長	高野輝生	高26
監事	池永	高18

【事務局】

庶務担当(教諭)	辻寛文	高37
会計・庶務担当	盛永佳代	

## 母校近況 「進取と向上」の取組



校長 高畑 一郎

校庭の黄色に染め上げられた銀杏と赤茶色の桜の葉の落葉に、秋の深まりを感じる季節になってまいりました。

同窓会の皆様には平素より本校の教育に対してご理解ご支援をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。この10月には「同窓のつどい」と「北九州同窓会」「関東同窓会」に出席させていただきました。いずれの会とも多くの同窓の皆様が集い、盛大で活気のある素晴らしい会となり、私も同窓生の母校への愛着と絆の強さを改めて感じるこ

とができたように思います。

さて、この3月の卒業生は難関大学も含めて、国公立大学、私立大学に多くの合格者を出し、一人一人の進路志望の実現という普通科進学校である本校にふさわしくよく努力し成果を挙げております。このような、進路実現を目指した平素の勉学はもとより、開扇祭(文化祭、体育大会などの学校行事のほか、部活動をはじめとした各種大会等、様々な場面でも南高生は真摯な取組や活躍を見せてくれています。弓道部女子や空手部が個人戦で九州大会出場を果たしたり、かるた部が夏の全国から選抜選手権大会で準優勝、秋の九州大会では大分県チームの中心として昨年に続き優勝を

果たすなど、学習と部活動の両立に日々努力してきた成果を出してくれました

さらに、本校ではこれからの社会を担う高い志をもったグローバル人材への育成をめざし、特色ある教育活動に取り組んでいます。確かな学力と学ぶ姿勢を育成する質の高い授業や充実した進学指導を基盤に、国内外で活躍する講師を招いての講演やグローバル企業等での研修、大学と連携したイングリッシュセミナー、アメリカやカナダでの短期海外留学研修など、高い志や挑戦意欲、語学力を育む取組を推進しています。校訓の「礼儀・誠実・進取・向上」の具現化をめざして、故郷中津はもとより我が国や世界で活躍する有為な人材としてふさわしい資質や能力を伸ばせるよう、本校教育の充実と発展に一層尽力して



いきたいと思います。最後にになりましたが、同窓会の益々のご隆盛と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして挨拶といたしま

## 平成28年度 同窓会年会費 納入のお願い

出費が多端の折ですが左記により納入方法が詳しくお願いいたします。

なお、本年度「同窓のつどい」参加者の中で、既に納入済の方につきましては、行き違いですので何卒ご容赦ください。

年会費 3,000円

納入方法

同封の郵便局の払込票を便用(払込料金は同窓会負担)  
納入期限  
平成29年1月27日(金)

平成29年1月27日(金)

# 平成28年度「同窓のつどい」 元氣三舞―あの頃も、これからも、いつまでも―

高校34回生実行委員長  
岡崎 誠一

去る10月8日(土)に行われました。平成28年度「同窓のつどい」開催にあたりまして、この紙面をお借りして会員の皆様により御礼を申し上げます。

私たち34回生一同は昨年の「同窓のつどい」終了直後より本格的に実行委員会を立ち上げて準備を進めてきました。33回生の先輩方の企画された平成27年度「同窓のつどい」が大変素晴らしい企画だったので、私たち34回生に同等以上の企画が出来

るか大変不安でした。そして何度も実行委員会を重ねていくうちに徐々に方向性が決まり、テーマを「元氣三舞―あの頃も、これからも、いつまでも―」に決定しました。今回の「同窓のつどい」に参加していただいた皆さん、特にご高齢の先輩方には来年再来年以降も元氣に同窓のつどいに参加していただき、学生時代の友人と楽しい一時を過ごしていただきたいという思いからテーマを決めました。そして、テーマに沿って余興、料理、記念品を決定、準備し本番に臨みました。

当日は残念ながら雨模様ながら雨模様にもかかわらず、来賓同窓会役員、学校関係者を含め400名以上の皆様にお越し頂きました。また、私たち34回生も

90名以上が集まり、合計で約500名以上が集まりました。最初に「舞の式」としまして豊前蛸瀬神楽によるオープニングを行いました。そして、大倉同窓会副会長の開会の辞が始まり、続いて校歌斉唱、同窓会故郷への黙禱と続き、清源同窓会会長の主催者挨拶、高畑校長のご挨拶、来賓紹介(13名)、来賓を代表して久恒関東同窓会会長の祝辞で式典を終了し、懇親会へと進みました。



「舞の式」蛸瀬子供神楽の熱演



懇親会では乾杯の挨拶を中49回生の竹内昭典様より頂戴しました。懇親会の余興は蛸瀬子供神楽を「舞の式」として行いました。可愛らしい子供達による子供神楽は大変好評で多くの方々が写真撮影をしてい



来年度当番幹事 35回生の力強い決意表明



楽しい歓談のひととき

た事が印象的でした。そして「舞の式」として美女達によるペリダンダンスをご披露しました。そして楽しい余興も終わり来年度当番幹事の35回生実行委員長、向笠浩貴君の決意表明の後に楽しい宴も終了しました。今回の平成28年度「同窓のつどい」開催にあたりましては多くの皆様にご協力を頂きました。心より感謝申し上げます。

### 近況報告及びお礼

奨学生よりの

道路はまだまだ舗装が不十分で、舞う砂埃が交通渋滞の喧騒を助長する、そこは霧の街というよりも砂塵の街であった。パキスタンの古都ラホールに観光客は皆無で、行き交う女性は皆ストールを巻いている。その風景がそれまでに私が訪れた他の都市とはまた違った様相を呈していたことは明らかであったが、何がどう違うのかと聞かれるとうまく答えるのは難しい。私はこの春休み、友人とパキスタンで1週間ホームステイをした。現地の人たちと時空を共有する中で、日本から比較めかけ離れた環境や思想に包まれた人々の価値観の一端に触れた。

外国を訪れたときだけでなく大学の一部の授業やまた普段の生活でも、大学生になってからの3年間で私が体験したこととは、およそ東京大学入

学以前には全く予想できなかったことであった。しかしそれは単純に多くの初体験をしたということではない。知らなかつた世界を知ったというような面的な認識空間の拡張だけではなく、認識主体である自分の思考回路そのものが高度に多層化された。分らないことだらけなこの世界(私の認識世界)において、私はその分らないものがここ最近より気になるようになってきた。人生目標とも言えるその曖昧ではっきりした問いを研究すべく、一つ具体的先端性を身につけるため、東大の地震研究所で学部の卒業研究を行うことを選択した。

研究に忙しくアルバイトをする余裕がない時期もある中で、白楊奨学金の援助は非常に助かっております。皆様への感謝を忘れずこれからも目の前の課題に対して真摯に向き合いたいと思っております。※本人の了承を得て掲載しています。

### 白楊奨学生とは

学校創立百十周年の記念事業の一つで在校生十五名を選考し、月額五千元を給与する制度で平成十五年開始した。

この制度は、高校授業料無償化により役目を終え、代わりに平成二十二年より大学生を対象に奨学生として採用することに改めた。大学奨学生の条件としては、「卒業生のうち、超難関大学へ進学する学業・人物も特に優秀な学生で、家庭の経済的な事情により学費の援助が必要と認められる者」で選考会議を経て応募者の中から一名を決定する。

奨学金は、月額三万円、給与期間四年間。

永く制度を維持したいが財源の確保が困難との理由により、やむなく平成二十七年より新規の奨学生募集を停止した。現在は、経過措置として二名の大学生が奨学生として残り学業に専念している。

### 小松真慈君 準優勝・敢闘賞

台覧記念相撲大会高等学校の部 個人戦

10月21日(金)に行われた平成28年度第94回台覧記念相撲大会高等学校の部 個人戦において、母校中津南高校の小松真慈君(1年)が準優勝に輝き、併せて敢闘賞(真邊杯)も受賞する見事な成績を上げた。

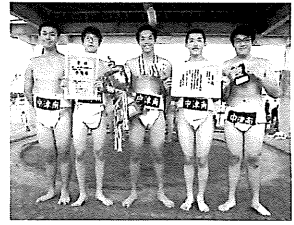
大相撲の力士を輩出した近隣の相撲強豪校の選手が出場する大会で、負けず劣らずの力と技を發揮したこの快挙は、称賛に値し大きな拍手を送りたい。同時にこの大会に出場した南高選手全員の健闘も讃えたい。

— 台覧記念相撲の歴史 —

大正9年11月、沖代平野(中津市)を中心とする豊前平野一帯で陸軍特別大演習が行われた。この大演習は、九州の主力部隊をすべて投入し3日間実戦ながら行われた。この時、大正天皇の御名代として皇太子殿下(後の昭和天皇)が視察のためお見えになり、8日間滞在了された。

11月14日、中津中学校(現 中津南高校)に行啓され授業や近隣小、中学校の相撲を御覧になられた。この時の授業や相撲が「台覧授業」、「台覧相撲」と呼ばれている。これを記念して翌年から「台覧記念相撲大会」として続けられ、戦時中に2,3回中断されただけで現在も毎年行われ、中、高校生の熱戦が繰り広げられている。本年度で、94回を数え歴史と伝統のある大会である。(昭和58年刊行 『学校史』より)

平成15年、中津南高同窓会は学校創立110周年記念事業の一環として、台覧記念相撲発祥の地という関係で優勝トロフィーを作り、以後この大会の団体優勝校に「南高110周年杯」として授与している。



小松真慈君(写真中央)



平成28年10月22日(土)東京九段下のホテルグランドパレスダイヤモンドルームにて、第39回中津南高等学校同窓会が開催され、215名の同窓生が参加しました。

御来賓として、中津市長奥塚正典様、中津南高等学校校長高畑一郎様、中津南高等学校同窓会会長清源善一郎様、中津北高等学校同窓会会長梅田二郎様、大分県東京事務所所長小野賢治様、大分合同新聞社東京支社長、下川宏樹様に御出席いただきました。

第一部の総会は、久恒三平 関東同窓会会長からの挨拶に始まり、御来賓紹介の後、奥塚正典様、高畑一郎様、清源善一郎様、梅田二郎様より御祝辞をいただきました。引き続き、宗像発秋幹事長より会務・会計報告、久恒三平会長より役員改選報告を行い、第一部は粛々と終了いたしました。

第二部の懇親会は、空撮による中津南高等学校の映像が場内に映し出された後、喜多代泰関東同窓会友誼会長の乾杯の発声により、和やかな雰囲気の中始まりました。

会場では、毎年恒例となった宝来軒のラーメンと、今や全国区となった中津からあげとして39回生高西正人さんが代表を務める「からあげ聖林」のからあげが振る舞われ、懐かしい味を求めて長蛇の列ができていました。お土産コーナーでは、39回生細川唯さんが代表を務める「スーパードライ」の厳選した商品として、「二反田醤油」の醤油

とネギ・かぼす・ゆずのドレッシング及び合わせ味噌等々の販売と、大分県漁業協同組合から中津新ブランド牡蠣の「ひがた美人」のPRを兼ねた試食会が行われる等、地元の色を求めて終始賑わっていました。

懐かしい同級生との歓談の後、中津市山国町出身の民謡歌手、江島あきさんの歌謡ショーが行われました。「中津望郷歌」「涙そうそう」等3曲が披露され、江島さんの美しい歌声に会場全体が聞き入っていました。次に、関東同窓会では恒例となりつつある高35回生の上田親寿氏率いる「リーダーズ」が繰り広げられ、種々御来賓と同窓生が踊りに参加するなど会場は大いに盛り上がりました。余興の最後に御提供いただいた協賛品の抽選会が行われ、豪華協賛品が当たった同窓生は大いに喜んでいました。

引き続き行われた校歌斉唱では、同窓生全員による大合唱で、会場は最高の盛り上がりとなりました。その後、関東の大学に在学中の学生の紹介、続いて、中津北高校との合同開催となる来年度の同窓会当番幹事の40回生からの決意表明を行い、引き続き当番幹事である39回生より御来場頂いた皆様への感謝の意を込め、御挨拶を申し上げました。

最後に、青木行雄関東同窓会顧問の中締めにて懇親会は締めとなり、関東同窓会はお開きとなりました。当番幹事となつてからの一年、不安な気持ちばかりが先行しながらも、なんとか開催までこぎつける事ができました。同窓会では30年ぶりの同級生と

なんやんは遠きこゝろに思ふもの

南高同窓会 支部だより



平成28年10月1日(土) ステーションホテル小倉4階にて開催されました。

中津からは来賓として、中津南高等学校校長高畑一郎様、同窓会副会長橋本浩様、同事務局長八崎増美様がご出席いただきました。40回生、吉田修氏の司会により開会を宣言しました。ステージは、少し照明の明かりを落とすイベントの準備が完了しています。引き続き特別イベントとして、中津市の北原地区に伝わる伝統芸能でありかつ、お越しいただき、集まった35名の同窓生とともに楽しいひと時を過ごしました。

例年、同窓会開始に先立ち、同窓生による講演会を実施しています。今年テーマ「ストレス社会をどう生きるか」サブタイトルとして「ストレスと仲良く暮らすには」と題して、神戸市スクールカウンセラー、スーパードライ 大谷明子(おおたけ)さん(7回生)にお話いただき、ストレスとはから始まり、対処方法、コミュニケーションのとり方など、多様な現在をいきていくために必要な知恵をいただきました。質疑応答も熱心な質問が盛り上がり、オーバーするほど盛り上がり、熱心な講演ありがとうございました。

校歌斉唱、記念写真の後、総会は、板山前支部長から退任の挨拶、続いて岩丸新支部長の挨拶から始まり、来賓として清源会長、宮原教頭、八崎事務局長の祝辞を賜りました。更に東京からお越しの安田喜根 関東副会長に関東同窓会の模様をお話いただきました。続いて中尾関西西名管支部長の乾杯の発声により懇親会がスタート。プレミアム焼酎、日本酒の差し入れとともに、料理に舌鼓を打ち、和やかな時間が過ぎていきます。いつも思うのですが、関西は同窓会の規模としては小さいけれども、とてもアットホームな雰囲気、皆が気安く話せるところがいいところだと感じています。

「大分県無形民俗文化財」に指定されています北原人形芝居を演じて頂きました。噂話には聞いていたが、実際に演じているのを見たのは初めてでした。何人もの演者さんが来ていただき、演目、人形の説明、3人の会員が参加して楽しい時を過ごすことが出来ました。

代表世話人である古海氏(18回生)より挨拶及び会計報告を行いました。次に来賓者が紹介され、中津南高等学校校長高畑一郎様及び同窓会副会長橋本浩様よりご祝儀を頂きました。

北九州同窓会顧問であります10回生八並康様による乾杯の発声により懇談会が開始されました。和やかな雰囲気の中、司会

者紹介により昨年に引き続き落語演目「平林」を披露してくれるのは、福福亭笑与さん(17回生木下敏行様)です。笑いを誘う話術、絶妙な問の取り方、表情の表しも素晴らしいと思います。次に、恒例の抽選会を実施しました。女性2名によるくじ引きより運命が分かれる。焼酎、世話人による景品の持込み等の品々により「喜憂したのではないだろうか。景品のない方もおられたとは思いますが、皆さんには楽しんで頂きたいと思えます。中津から応援に来て頂いた角様からも祝辞をいただきました。

最後は、リード役橋本副会長、古海会長と共に中津南高等学校校歌を全員で歌い団結を誓いました。

最後の締めとして、万歳三唱を行い来年の再会を約し各自散会いたしました。

品としたビンゴゲームを盛大に実施。今年は中津からの差しの入れの外部をはじめ、だんご汁、お茶、椎茸、くぼて漬、きのこカレー、かぼす、など多くの景品が全参加者に配られました。あつという間に楽しい時間も過ぎ、今年も趣向を変えて「故郷」を合唱し、山田副支部長、佐伯副支部長の万歳三唱にて中締めとなり、来年の再会を誓っていただきました。

なお、「平成29年度関西同窓会」は次の日程で開催いたします。

今年、世話人等の協力により参加者が54名でした。想定以上の数でした。また、イベント参加を受諾頂いた皆様の協力、中津から同窓会心援のため出席いただいた方の協力がなければ、このような総会は開けなかつたと思えます。関係する皆様に感謝します。(高19回生 岩崎 誠)



中津南高等学校北九州同窓会

梅田までお越しください。岩丸支部長以下事務局一同心よりお待ちしております。

関西支部同窓会事務局 松吉 和美 高24回生



平成29年11月18日(土) 11時30分~14時30分 ガーデンシニイッククラブ大阪 (大阪市北区梅田2-15-15) ハービスOSAKA 6階 万障繰り合わせの上、大阪



平成28年11月12日(土)平成28年度「関西同窓会」を梅田の「ガーデンシニイッククラブ大阪」にて開催いたしました。来賓として中津から清源同窓会長(24回生)、宮原教頭先生、八崎事務局長(17回生)に

# 主な部活動実績

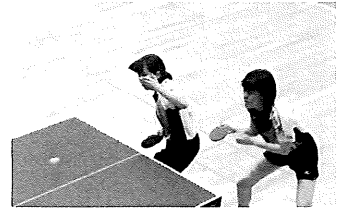
平成28年度 部活動の主な結果(県高校総体、新人戦、その他)

## 【運動部】

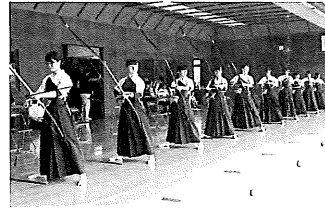
部活動名	大会名	種目名等・成績
陸上競技	大分県高校総体	男子砲丸投 女子200m 6位【北九州大会出場】 準決勝進出
	大分県高校新人大会	3000mSC 男子 5000m 女子 3000m 決勝進出 決勝進出 決勝進出
	大分県高校新人大会	女子400m個人メドレー 3位
水 泳	大分県高校総体	女子個人 5位【九州大会出場】
	大分県高校新人大会	男子個人 2位【九州大会出場】
剣 道	大分県高校総体	男子団体 ベスト8
空手道	大分県高校総体	男子個人 形 ベスト8
	大分県高校新人大会	男子個人 形 九州大会出場
女子バスケット	インターハイ予選	ベスト8
	大分県高校新人大会	ベスト8
柔 道	大分県高校新人大会	66kg級 ベスト8
卓 球	大分県高校総体	女子学校対抗 ベスト8



陸上部



卓球部



弓道部



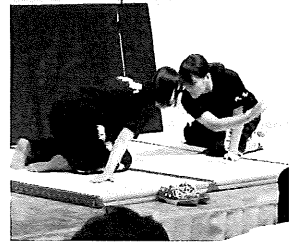
科学部

# 開けよ扇 咲けよ花 開 扇 祭



## 【文化部】

部活動名	大会名・種目名等	成 績
かるた	第38回全国高等学校小倉百人一首 かるた選手権(7月 滋賀県)	団体【準優勝】
	第40回全国高等学校総合文化祭2016ひろしま織文 小倉百人一首かるた部門(8月 広島県)	団体【ベスト8】
	第6回九州地区高等学校小倉百人一首 かるた競技大会(10月 熊本)	団体【優勝】 平成29年3月全国グランプリ の出場権獲得
吹奏楽	平成28年度大分県吹奏楽コンクール(7月)	高等学校Aの部 銀賞
演 劇	第69回大分県高文連中央演劇祭	優良賞
科 学	第57回大分県科学クラブ研究発表大会	ポスター発表の部 優良賞



かるた部

# 文武両道 南高生かく戦えり!!

## 主な進学実績

東京大学 1名 京都大学 2名 合格

学 校 等	合格者数
北海道大	1
東京大	1
東京学芸大	1
静岡大	1
京都大	2
神戸大	4
岡山大	2
広島大	5
山口大	9
愛媛大	1
高知大	1
九州大	12(1)
九州工大	7
福岡教育大	3
佐賀大	2(1)
長崎大	7
熊本大	12
大分大	16(1)
宮崎大	1
鹿児島大	9(3)
合計	97(6)

学 校 等	合格者数
鳥取環境大	1
県立広島大	1
下関市立大	1
山口県立大	2
北九州市立大	6
福岡県立大	1
長崎県立大	4
山口東京理科大	1
福岡女子大	2
宮崎県立看護大	1
大分看護科学大	4
宮崎公立大	3
合計	27(0)

学 校 等	合格者数
早稲田大	1
慶應義塾大	1
明治大	1
青山学院大	2
立教大	1
東京理科大	3
日本大	1
法政大	4(1)
東海大	2
同志社大	10(3)
立命館大	15(5)
関西大	2(1)
関西学院大	7(1)
近畿大	10
久留米大	3(1)
福岡大	42(3)
中村学園大	6
西南学院大	15(1)
立命館アジア大	2
別府大	2
その他私大	119(5)
合計	249(21)

※ ( ) は既卒者で内数です。

### 平成28年度入試合格者総数

国立大 124名 (難関大学・学部 21名合格) 私立大 249名